

河浦地域 避難所一覧

※指定緊急避難場所(第1次)……災害が発生し、または発生の恐れがある場合に、その危険から逃れるための避難場所。

※指定避難所(第2次)……災害の危険性があり、避難した方や災害により家に戻れなくなった方に必要な期間、滞在していただく臨時の施設。

避難対象地区	施設名	電話番号 (市外局番 0969)	指定緊急避難場所(第1次)		指定避難所 (第2次)
			風水害	地震・津波・高潮	
新合地区	新合地区コミュニティセンター	77-0001	○		
	新合体育館(旧新合小体育館)				○
	新合地区コミュニティセンター前広場			●	
一町田地区	今田地域交流施設	(有)2780	○		
	市河浦支所	76-1111	○	○	
	河浦小学校体育館	76-0012			○
	河浦中学校体育館	76-0009			○
	河浦病院高台			●	
	河浦中央体育館	76-1078			○
	一町田体育館	(有)6563	○		
	路木十五社宮	—	◎	◎	
	富津地区	富津地区コミュニティセンター	79-0001	○	
富津地区	富津体育館(旧富津小学校体育館)				○
	チャペルの鐘展望公園高台			●	
	今富地域交流施設	—		○	○
宮野河内地区	宮野河内地区コミュニティセンター	78-0001	○		
	宮野河内体育館 (旧宮野河内中体育館)				○
	大蓮寺	78-0034			○
	上平十五社宮高台			●	

※●はグラウンドなどの屋外施設、◎は地域で運営する避難所

避難所生活の心得

避難所の生活では、ほかの人の居住スペースに立ち入ったり、のぞいたり、大声を上げたり、決められた場所以外で喫煙するのはマナー違反です。ルールを守り、避難者もできる範囲で役割分担をして助け合いながら生活しましょう。また、避難所では、要配慮者への心配りも必要です。

①連絡先などの申告



避難所に到着したら、住所・氏名・連絡先を申告し、できるだけ隣近所の人や町内会ごとにまわって過ごすようにします。帰宅困難者はその旨を申告します。

②役割分担



受付や炊き出しなど、割り当てられた係の仕事はしっかり行いましょう。お互いに協力し合って避難所を運営しなければならないことも多くあります。

③体調管理・衛生管理



急激な環境変化で体調を崩さないように心掛けましょう。トイレの清掃やゴミ捨て当番などを決めて衛生管理をしましょう。

ハザードマップの見方

●洪水・土砂災害ハザードマップ

洪水浸水想定区域について

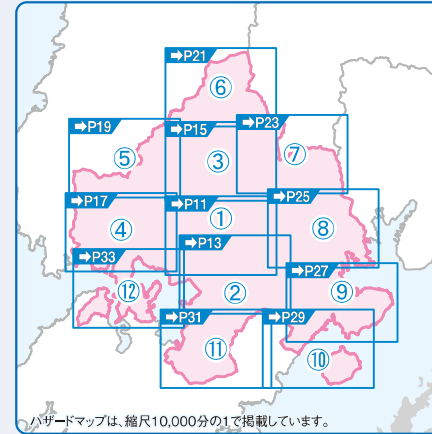
河浦地域内を流れる一町田川(支川 久留川、白木河内川、葛河内川)、今富川が、大雨によって氾濫した場合に想定される「浸水する範囲(浸水域)」と「浸水の深さ(浸水深)」を示しています(熊本県作成)。

想定される大雨の規模は、以下の通りです。

- ・一町田川: 概ね30年に1回程度起こる大雨
- ・今富川: 概ね10年に1回程度起こる大雨

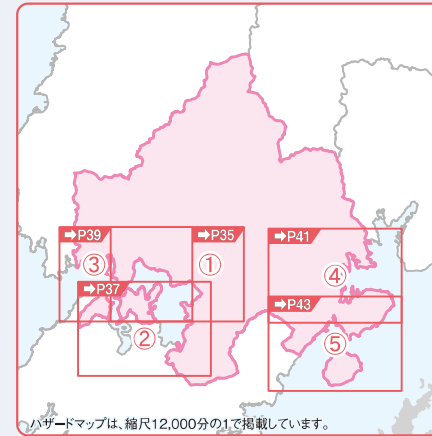
土砂災害警戒区域・特別警戒区域について

熊本県が告示した、「急傾斜地の崩壊」、「土石流」、「地すべり」の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示しています(平成29年末時点)。



ハザードマップは、縮尺10,000分の1で掲載しています。

●高潮ハザードマップ

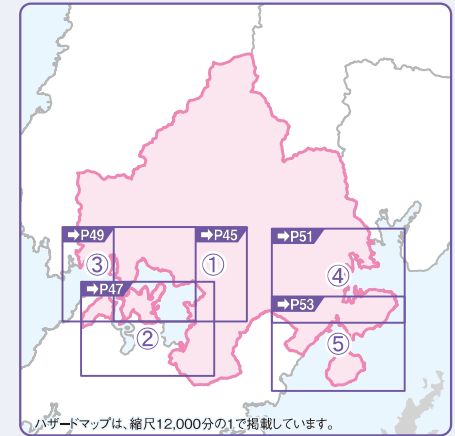


ハザードマップは、縮尺12,000分の1で掲載しています。

高潮浸水想定区域について

熊本県内の沿岸部を対象に、満潮時に伊勢湾台風(中心気圧940hPa、想定最大風速45.4m/s)相当の台風が、最も影響するコースを通過し、海岸の堤防を越えて浸水した場合を想定しています。

●津波ハザードマップ



ハザードマップは、縮尺12,000分の1で掲載しています。

津波浸水想定区域について

3つの断層モデル(雲仙断層群、布田川・日奈久断層帯、南海トラフの巨大地震)を対象に6ケースの津波シミュレーションを行い、各計算結果の最大となる浸水域と浸水深を示しています。

なお、津波によって堤防などの構造物が破壊される場合を考慮して計算しています。